

報告第25号

平成29年度一般財団法人宇治廃棄物処理公社経営評価の報告について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第5条第1項の規定に基づき、平成29年度一般財団法人宇治廃棄物処理公社経営評価について、別紙のとおり報告する。

平成30年9月18日提出

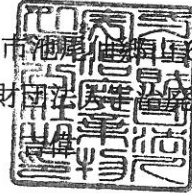
宇治市長 山本 正



10財字廃第23号
平成30年8月13日

宇治市長 山本 正 様

所在地 宇治市油漕町1番地2
法人名 一般財団法人宇治廃棄物処理公社
代表者名 岡見



宇治市出資法人自己評価報告書の提出について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第4条第2項に基づき、次のとおり報告します。

第1号様式

宇治市出資法人自己評価報告書

1. 法人の概要

団体名	一般財団法人宇治廃棄物処理公社	設立年月日	昭和52年7月14日
一般財団法人への移行年月日			平成25年4月1日
基本財産	10,000千円 (移行前 10,000千円 うち市出えん・出資額 10,000千円 出資比率 100%)		
設立目的	宇治市の清掃行政に対応し、市民生活や地域の社会経済活動から排出される廃棄物を安全・適正に処理し、地域社会における生活環境の保全及び公衆衛生の向上に関する事業を行い、健康で豊かな市民生活の確保と社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的とする。		

2. 役職員等の状況

		平成27年度			平成28年度			平成29年度		
		市職員	市OB		市職員	市OB		市職員	市OB	
役員等	常勤	1	1	0	1	1	0	1	1	0
	非常勤	14	4	0	14	4	0	14	4	0
職員	管理職	2	1	0	0	0	0	1	1	0
	一般職	3	0	0	3	0	0	4	0	0
	計	5	1	0	3	0	0	5	1	0

*役員等と職員を兼務している場合はそれぞれ1名でカウントしている。

3. 事業の概要

主要事業名	事業内容
一般廃棄物処理・処分事業	市内から排出される不燃ごみ・粗大ごみなどの一般廃棄物の埋立処理
産業廃棄物処理・処分事業	市内から排出される産業廃棄物（燃え殻・廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類等）の埋立処理
浸出水処理施設処理事業	埋立処分地の浸出水処理施設における凝集沈殿装置・砂濾過塔・高速濾過塔・活性炭塔への塩化第二鉄・高分子凝集剤・活性炭等の注入・交換等による適正な浸出水の処理

4. 財務状況

1) 収支・正味財産の状況

(単位：円)

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
収入	75,243,161	100,267,775	88,374,062
収益事業収入等	67,086,237	90,276,649	79,048,535
市支出金	8,156,924	9,991,126	9,325,527
人件費	0	0	0
事業費	8,156,924	9,991,126	9,325,527
支出	91,586,325	114,158,837	85,097,005
人件費	35,993,433	56,753,899	30,383,727
事業費	55,592,892	57,404,938	54,713,278
当期収支差額	△16,343,164	△13,891,062	3,277,057
当期正味財産増減額	△16,343,164	△13,891,062	3,277,057
期末正味財産合計額	237,985,615	224,094,553	227,371,610

2) 貸借対照表

(単位：円)

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
資産合計	318,193,797	282,957,835	285,894,463
流動資産	37,144,047	32,014,236	41,194,434
固定資産	281,049,750	250,943,599	244,700,029
負債合計	80,208,182	58,863,282	58,522,853
流動負債	2,812,662	2,801,282	1,207,708
固定負債	77,395,520	56,062,000	57,315,145
正味財産合計	237,985,615	224,094,553	227,371,610
基本財産	10,000,000	10,000,000	10,000,000
その他正味財産	227,985,615	214,094,553	217,371,610

3) 市財政支出の状況

(単位：円)

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
補助金	8,156,924	9,991,126	9,325,527
委託料	0	0	0
その他(分担金等)	0	0	0
計	8,156,924	9,991,126	9,325,527
貸付金	0	0	0
借入金残高(期末)	0	0	0
市の債務保証残高(期末)	0	0	0
市の損失補償残高(期末)	10,389,950	7,724,754	5,106,423

4) 主要経営指標

指標	算式	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
人件費比率	人件費計÷支出計	39.3%	49.7%	35.7%
自己資本比率	正味財産計÷資産計	74.8%	79.2%	79.5%
流動比率	流動資産÷流動負債	1,320.6%	1,142.8%	3,411.0%
借入金依存度	借入金残高÷総資産	3.2%	2.7%	1.8%
借入金返済能力	長期借入金÷(減価償却費+税引後利益)	24.7%	37.1%	24.3%

5. 経営評価（法人自己評価）

視点	評価	コメント
目的適合性	A	社会経済の変化と生活様式の多様化により、家庭から排出される一般廃棄物及び事業活動に伴い排出される産業廃棄物の種類も複雑化、多様化しており、これらに対応した適切な廃棄物の受入と処理を基本に事業を実施している。廃棄物処理法その他、容器包装リサイクル法、家電リサイクル法、建設リサイクル法等の法整備とともに、廃棄物の分別・リサイクルの取り組みが進められているものの、引き続き、最終処分場として適切な廃棄物の受入と処理を実施していく。
効率性	A	京都府産業廃棄物税の徴収・申告・納税業務や非飛散性アスベスト廃棄物の搬入受入等、業務量が増加する中、廃棄物の受入・処分業務（受付・料金徴収、処分場への搬入者の誘導・受入、処分・埋立作業）、浸出水処理施設管理業務、庶務・経理業務について、職員5名と臨時職員3名の8名で対応している。また、処分契約にかかる現地調査や浸出水処理施設の薬剤入替作業、非飛散性アスベスト廃棄物の搬入受入業務等については、担任以外の職員も含め、互いに補完・協力して実施している。
組織運営健全性	A	評議員会、理事会で事業計画、事業報告、予算、決算等の重要事項について、承認を受け、定款、規程等に基づき、事務局が業務を適切に実施している。その他の案件についても、理事長に適宜報告するなど、情報の共有に努めている。
財務健全性	B	平成29年度は前年度に引き続き災害廃棄物の搬入等により、一般廃棄物の搬入量が臨時的に増加した。産業廃棄物の搬入については、排出事業者の分別・リサイクルの取り組みなどから減少傾向にある。引き続き、廃棄物の安定的な搬入量確保と経費削減に取り組むことにより、財務の健全化を図っていく。
総合評価	B	廃棄物処理に関連する法整備が進められる中、全体として搬入量が減少傾向にあることを踏まえ、第3期埋立処分場の埋立期間及び財政見通しなどについて、評議員会、理事会、事務局等で検討・見直しを行うことにより、今後とも公社経営の健全化と処分場の延命を両立させながら、廃棄物の適正な受入と処理・処分に向けた事業の展開を図っていく。

評価の目安 A：良好である B：ほぼ良好である C：やや課題がある D：課題が多い